



祝 マニフェスト大賞・審査員特別賞受賞

マニフェスト大賞とは、地方自治体の議会等の優れた活動に対して表彰されるものです。このたび、桐生市議会が行っている高校生、大学生、新入社員とのまちづくり討論会が、若い世代の主権者教育の枠を広げたとして高く評価されました。

お知らせ

◆次回定例会の開催予定は…

2月19日(火)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。



キノビー

Pick up

平成30年第4回定例会は、11月30日(金)に招集され、12月21日(金)までの22日間の会期で開かれました。

- 桐生市子ども基金条例案を可決 ……P10
- 行ってきました行政視察 ……P11
- 意見提出手続の実施 ……P12
- 子ども議会開催 ……P12

桐生市議会は、いちばん身近な頼れる議会を目指して議会機能の充実強化に努めます。



12月20日(木)・21日(金)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



見 武 男
(創志会)

市政について

質問 次期市長選に向けての考えは。

答弁 今

期末を市政運営の一区切りとして、市長の職から退き、来春の市長選には立候補しない意向である。

質問 こ

れまでに様々な施策を実施してきたが、これからの当市のあり方について市長の考えは。

答弁 これまで最重要

課題としてきた人口減少対策は、継続して取り組まなければならないと思っており、市有施設も老朽化が進み、待ったなしの状況である。また、当市の魅力であるすばらしい自然や織都13



桐生市役所

00年の歴史や文化は、市外へのPRはもとより、市民に再認識してもらいながら自信と誇りを持ってもらいたいと思っており、子供たちにはしっかりと伝えていく必要がある。平成31年度は、「桐生市新生総合計画」及び「桐生市まち・ひと・しごと

創生総合戦略」の計画期間の最終年度でもあり、集大成の年になる。また、当市の将来に大きな影響を与える「桐生市行政改革方針」や「桐生市コンバクトシ

ティ計画」、「桐生市シテイブランディング戦略」については任期内に策定したいと考えている。いづれにしても、残る任期、市民にとって何が必要か、将来に向かって何をなすべきかという目的意識を持って、全力で取り組んでいきたい。



渡 辺 恒
(日本共産党議員団)

公共交通の充実

質問 県立高校の統廃合に合わせて平成

33年4月にバス路線等の見直しが予定されているということだが、市民から、バス停がなく不便であることや、バス停の表示が見づらいこと等の意見が寄せられているので早期に対応できないか。

答弁 おりひめバスは

市内全7路線を11台の車両で相互に運行しているため、一部増便等



おりひめバス

の変更でも全体のダイヤに影響が生じてしまうことから見直しの実施にあたっては他の路線も含めた全体の運行計画案を慎重に作成する必要がある。破損や劣化したバス停は随時修繕しているが、時刻表等を大きく見やすい表示に変更することについては、利用状況や費用面等も含め検討したい。

質問 前橋市などの例

に倣って、高齢者向けのタクシー利用料助成の制度を設けることについての見解は。

答弁 高齢者の移動手

段の確保については地域包括ケアシステムを推進していく上で重要な課題の一つであり、地域包括ケアシステム構築検討委員会においても高齢者福祉だけでなく、公共交通、都市計画などさまざまな観点から支援のあり方を検討している。本制度の導入についても移動支援の手段の一つとして、他市の事例等を調査し必要性や可能性、実施手段等を検討している。



正 男
(そうぞう未来)

皆沢地区の携帯 電話基地局

質問 携帯電話基地局整備の進捗状況とサービス開始までのスケジュールは。

答弁 実施事業者であるNTTドコモに確認したところ、12月28日には基地局が完成し、今後は、平成31年1月にアンテナ及び配線の工事や電波調整を行い、2月中には通話が可能になる予定と伺っている。

桐生市金券の 発行

質問 「桐生市金券」を発行し、各課で支出する報奨金や助成金を市内限定金券にすることについて当局の見解は。

答弁 金券交付を実施した場合には、市内で金券を使用して買い物をしていただくことにより、地域経済の活性化につながる一



皆沢地区携帯電話基地局

定の効果があるものと考えている。一方で、金券の使用が市内登録店舗に限られるため、交付を受けた市民は、希望する買い物ができなくなる可能性があることや、金券作成等に伴う経費が発生すること、また、職員の事務負担が増大することなどのデメリットも考えられることから、実施にあたっては十分に検討する必要がある。また、補助金や報奨金等については、それぞれに目的、内容が異なるため、所管する各部署において実現が可能かどうか検討する必要があると考えている。



藤 英 人
(創志会)

キャッシュレス決 済のポイント付加

質問 キャッシュレス決済のポイント付加について、当市での導入は。

答弁 キャッシュレス決済のポイント付加制度については、国が実施するものと認識している。なお、小売店の端末機器導入に対する補助など関連して実施される事業について、自治体の実施または関与することになった場合については、国の制度に沿って実施してまいりたい。



キャッシュレス決済イメージ

ための対策について。
答弁 今回の消費増税対策については、国において、平成26年に消費税を5%から8%に引き上げた際に、予想外の消費低迷が生じた教訓を生かし、景気対策を万全なものとするため、9項目にわたる対策を実施するものとして認識している。当市としては、キャッシュレス決済へのポイント付加制度において、市民や小売店等への周知を徹底し、商工会議所等の関係機関と調整を図り、また、市民からの相談等に的確に対応するなど、必要な支援を行ってまいりたい。

いずれにしても、各対策の決定にあわせ、関係部署において、実施や支援の内容について検討されるものと考えている。

消費増税後の対策

質問 消費増税後に景気悪化とならない

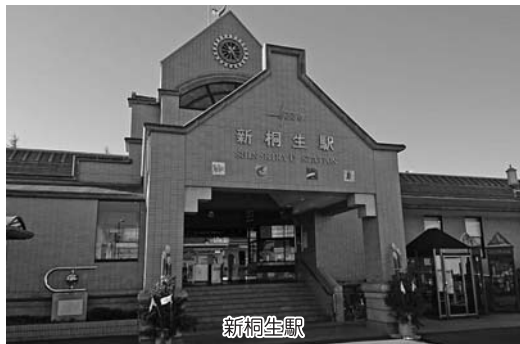


河原井 始
(クラブ21)

新桐生駅構内の バリアフリー化

質問 新桐生駅構内のバリアフリー化を

答弁 新桐生駅構内のバリアフリー化は、前進させるため、今ある財政調整基金42・5億円を活用し、市の単独事業としてエレベーターの設置を行うことは、市民及び当市の姿勢を東武鉄道及び群馬県へ示すことになり、問題の早期解決に繋がると考えるが、この案に対して市長の見解は。



新桐生駅

当市の重要課題として、これまで東武鉄道や国に対して要望を続けてきたところである。東武鉄道も平成32年度完了予定の「新桐生駅前広場整備」に合わせた工事に着手できるように国に要望をあげているところであり、今後東武鉄道や群馬県と協力しながら、国への働きかけを継続して行ってまいりたいと考える。また、「市費を投入してエレベーターの設置を行う」という提案に対しては、本事業はあくまでも東武鉄道が実施主体となる事業であり、東武鉄道や群馬県とこれまで力を合わせて取り組み、確約はできないが国の採択まであと1年か2年のところまでこぎつけてきたことから、この段階で市費をさらに投入することは考えていない。

- その他の質問項目
- ◆桐生市長3期12年間を振り返って
- ◆財政力の推移について
- ◆桐生市水道事業の在り方について



飯島英規 (無党派)

歴史まちづくり

質問

「歴史と文化が地域を元気にする」と題した講演会の中で、2つの成功事例が紹介されたが、どのような内容で、どのようなスキームなのか。また、成功事例を踏まえ、桐生新町重要伝統的建造物群保存地区を持つ当市として効果的な施策を積み重ねる考えがあるか。

答弁

平成14年に重伝建地区に選定された福岡県八女市八女福島地区は、空き家、空き店舗及び空き工場の増加が課題であったが、ものづくりの場としたことで、若いアーティストが移り住むようになり、休日には製品を直接買いに来る人が増え、観光客の増加に繋がった。また、家賃が安く平日は静かで創作活動に最適な環境であることが口コミで広ま



市内の重伝建地区

り、現在は、空き家や空き店舗が足りず空き待ちの状態だという事例が紹介された。また、平成25年に重伝建地区に選定された秋田県横手市増田地区でも同様な課題があったが、重伝建地区の選定により建物の修復が進み、観光客も増えたことで、今まで1件もなかったカフェが、空き店舗を利用して4件増えたという事例が紹介された。当市の重伝建地区においても、同じように空き店舗等の活用が始まっているので、先進地の事例を参考に、当市ならではの施策について、関係部局と連携し研究していきたい。



北川久人 (創志会)

高速道路の誘致

質問

高速道路のインフラは県内では当市とみどり市だけであるが、今後何十年も持続可能なまちにしていけるためには高速道路を通すことは非常に重要と考える。関越自動車道と東北自動車道の間に東京外環自動車道や北関東自動車道から分岐し、当市や栃木県日光市を通過し、福島県の磐城自動車道に接続するような高速道路の整備を国に要望することの見解は。

答弁

構想路線にある日光市は国内外から高い人気を集めている観光地であり、歴史的



高速道路イメージ

な観光資源を有する当市と高速道路で直結できた場合、大きな経済効果が期待され、大変夢のある計画であると思う。しかし、高速道路の建設は現在、高規格幹線道路として建設すべき道路の予定路線が約14000km定められているが整備率は平成28年度末でおよそ80%に留まり、残る約2700kmの未整備区間の整備が優先されると考えられ、また路線決定にも構想から40〜50年を要することが想定される。今後迎える人口減少社会において、交通需要の減少などを勘案すると課題は多いが、未来への構想として引き続き、手法や手続きなどを研究してまいりたい。

その他の質問項目

- ◆ 遊園地トイレ
- ◆ 動物園藤棚広場



田島忠一 (そうぞう未来)

ふるさと納税

質問

平成29年に桐生市民が他自治体へ寄附したふるさと納税の寄附金額は。

答弁

桐生市民が自治体へ寄附を行った人数は1134人で、寄附金額は1億2425万4207円となっている。なお、この数字には税務の統計上一般的にふるさと納税といわれる寄附以外の自治体に対する寄附



ALT

質問

ALTの先生方には桐生市の織都1300年の歴史、文化、自然を味わっていただくことにより、国に帰られたときに桐生での仕事や生活、桐生市民との関わり合いが楽しく、すばらしいものだったと思っただけで、それが大切と考える。それらを今後どのように行っていくのか。

答弁

ALTとして英語や異文化理解の業務に係る情報交換をALTミーティングで優先させつつ、当市の良さを知ってもらうために、夏休み等に市内の施設をめぐる機会を設けることも検討してまいりたい。



山之内 肇 (公明クラブ)

太陽光発電施設 置に関する条例

質問

当市の特性を十分に踏まえた上で住民の安全、安心、不安の解消を第一義と捉え、山林への太陽光発電施設設置に関する適切な事業推進に資するための条例を早期に制定するべきということを強く求めるが見解は。

答弁

旧桐生市内の宅地造成工事区域内における事業計画に対しては、法律や規則に則った造成をすることから、事業実施に係る地域住民の安全安心は、確保できていると考えているが、当市全体に対しても良好な自然環境や景観を守るとともに、事業地周辺住民の不安を解消していくということは重要であるという認識から、他市の事業状況や条例を研究しつつ、現在、条例の制



市営住宅

定を検討しているところである。

市営住宅の基準 見直し

質問

単身で入居できる部屋の数を増やし、入居を希望される単身世帯に対して適切な入居を促せるよう、速やかに基準を見直すべきと思うが見解は。

答弁

単身での入居の需要は増えており、基準の見直しの必要性は認識していることから、桐生市公共施設等総合管理計画を踏まえ、施設の集約も考慮しながら、基準の見直しの検討を進めていきたいと考えている。

敬老祝い金



藤光 好 (創志会)

質問

人生100年時代を迎えてますます高齢化率が高くなり、現在、当市は人口減少率、高齢化率ともに県内12市中最も高い。多年に渡り社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝い、思いやる考えを持つことは、重要課題である人口減少をめぐると問題克服に向けた一躍になると考えるが、当市及び他市の敬老祝い金の実施状況について伺いたい。

答弁

当市の敬老金支給事業については、各年度の9月1日時点における年齢が80歳の人に5千円、85歳の人に1万



慶祝訪問

円、90歳の人に2万円、95歳の人に3万円、100歳以上の人に5万円、それぞれ9月に現金を支給している。近隣他市の実施状況については、各市の条例により定められているため、内容がそれぞれ異なるが、太田市、館林市、佐野市では当該年度末を基準日として支給しており、みどり市では当該年度の12月までに対象年齢に達する人、足利市では100歳の誕生日を迎えた人に随時支給をしている。

水路、河川の ナーアアップ

質問

当市で実践しているごみ捨て防止対策は。

答弁

当市で行っている防止対策は、各法令や桐生市不法投棄防止条例及び桐生市ポイ捨て等防止に関する条例に基づき、県や警察などの関係機関、市の関係部署、桐生商工会議所、各種事業者、桐生市ごみ減量化推進協議会などと連携して、不法投棄の防止や環境美化に関する啓発等を行っている。また、市民などから相談があった時には、ごみ捨て禁止の看板の交付を行っている。

質問

当市はいろいろな施策の中で山紫水明を宣伝している。当市を訪れた観光客に、ごみが落ちていないきれいな街だと思ってもらいたい。水路、河川のナーアアップに



岡部 純朗 (そうぞう未来)

答弁

きれいな水路、河川を実現するためには、市民一人ひとりのナーアアップが必要不可欠であると考えている。今後も関係部局が連携を密にしながら、事あるごとに水路、河川の環境美化に対する意識啓発を行い、市民モラルの向上に努めていきたい。また、市民意識を高める効果的な方法については、まだまだ研究の余地があると考えている。

◆その他の質問項目 ○狭隘道路安全対策



ごみ捨て禁止看板



園田基博 (創志会)

わがまち基金

質問

わがまち基金を活用した地域創生

支援スキームに、桐生信用金庫の桐生独自のローカルシェアリングエコノミー圏構築事業が採択され、地域の企業が抱える課題の解決に向けた取り組みを進めているが、今後のキッズバレイやジョブラボぐんまとの連携は

答弁

現在、キッズバレイにおいては、

企業の販路拡大を支援するため、地域の魅力的な産品を販売するECサイト等の構築を目標している。またジョブラボぐんまにおいては、企業の人材確保と就職希望者を支援するため、就職希望者だけでなく、その家族や教師を対象とした企業情報冊子の作成や企業説明会を開催予定であるなど、企業の情報が地域の中で循環する仕組み



わがまち基金を活用した地域創生支援スキームの記者会見

- ◆ その他の質問項目
- ◆ 高校生発の地方創生
- ◆ 防災対策
- ◆ 有害鳥獣対策

みづくりを進めている。本事業は民間企業ならではの専門的な知識や幅広いネットワークを活用した大変有意義な事業であるので、当市としては広報やホームページ等によりECサイトへの参加募集や就職情報冊子に関する情報の周知など民間主体の取り組みがより大きな成果を生み出し、地域全体のイメージアップにもつながるよう引き続き適宜適切な支援に努めてまいりたい。



関口直久 (日本共産党議員団)

高齢者が安心して暮らせる社会

質問

介護保険料の引き下げと利用料の

負担軽減の取り組みは。介護保険料については、所得段階が第1段階の人を対象に0・05の公費負担を行い、負担割合を0・45に引き下げている。また、所得段階の負担割合を低所得の人へ配慮し、14段階の多段階の設定などを行った。

負担軽減については、1か月の利用者負担の合計額が、所得に応じた上限額を超えた場合には、超えた分を高額介護サービス費として支給するなどの制度がある。



桐生厚生総合病院

桐生厚生総合病院

質問

総合病院や中核病院としての機能と役割は。

答弁

一般的に総合病院とは、内科や外科、その他複数の診療科を持ち、病理など臨床検査の設備もあり、入院用ベッドを100床以上備える病院とされ、中核病院は、地域の医療連携の中核となり、かかりつけ医で行うことが難しい専門的な検査や他の医療機関では提供することが困難な医療などを提供する役割を担うものである。

桐生厚生総合病院は、入院用ベッド471床を備え、地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院など国や県からの指定を受けており、桐生地域における中核病院として総合的な役割を担っている。



新井達夫 (そうぞう未来)

小中一貫校についての研究経過

質問

黒保根での研究の内容は。

最初に、小中一貫教育の基本的な考え方や目指す姿を黒保根小・中学校の全教職員が共通理解できるように説明した。次に、学校と教育委員会、黒保根支所の職員が、全国の小中一貫教育の先進校4校を視察し、それぞれの立場で何が必要かを確認した。



黒保根中学校

質問

道路側線やセンターラインが見えない箇所の危険性について、例えば、相生町の旧清掃管理事務所付近及び最終処分場付近の道路で、道路側線やセンターラインが消えて見えない場所があると思うが、そのことは承知しているか。

答弁

部分的に消えている箇所があることは承知をしている。しかしながら、その区間には、舗装自体が劣化している部分もある。限られた予算の中で、まずは現地調査を行った上で、著しく車線の認識ができなくなっているなど緊急度の高いところから、ラインの引き直しに着手したいと考えている。

現在、平成30年度に視察した先進校の良さと課題を整理し、黒保根ならではの特色ある教育を進めるための施設設備内容の検討と必要な教職員数を関係機関と協議するなど、実現に向け努力している。



伏木 康雄 (無党派)

市長職の役割

質問 一般論として、市長職の役割とはどういったものがあるか。また、認識しているか。

当市の顔役であり、自身の言動で示す役割もあると思うが、それに対する見解は。

答弁 一般論としての市長職の役割について、まず、市長の権限については、地方自治法第147条において「普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体を統轄し、これを代表する」と規定されている。また、桐生市職務権限規程第16条においては市長の職務として「市長は、市民の福祉を増進するため、市政の最高責任者として市を代表し、市政を統括する」と規定している。

このように、市長は対外的には当市の代表者であり、市長の意思は当市の将来を左右する重要な職責を背負っている。また、市長は市内の掌握はもとより、議会との調整を図り、首尾よく対外折衝を進め各施策の成果を上げ、市民の負託に応えるべき重要な舵取りを担っている。

当市の顔役ということに関しては、市民の皆様が当市に誇りを持ち、自信を持つことが一番と考えることから、良いところを伸ばしながら市民の皆様が前に向かって進めるような市としての顔役でありたいと12年間やってきたつもりである。

質問 県がマップを公表しているが、大規模盛土造成地とは、どのようなものがあるか。また、調査方法は。

答弁 大規模盛土造成地には、「谷埋め型」と「腹付け型」の2種類がある。また、県による調査は、過去と現在の空中写真や地形図をもとに机上で調査を行い、盛土箇所を判別し特定したと聞いている。



大規模盛土造成地マップ【桐生市】
大規模盛土造成地マップ

目から3丁目の5地内にあり、既に宅地造成工事規制区域内にあるため新たに造成宅地防災区域に指定されることはない。また、既存の地震防災マップと重ね合わせた場合、揺れやすさは、5か所とも「最大で震度6弱」、地域の危険度は、菱町1丁目地内が「2%以上5%未満」、外4地内が「0%より大きく1%未満」。液化化危険度は、川内町5丁目地内で「低い」、菱町3丁目地内が「極めて低い」、外3地内が「液化化対象外」となる。

質問 市内の状況と防災マップとの関係及び今後の対応は。

答弁 対象となる箇所は、川内町5丁目、相生町3丁目、菱町1丁目

今後、第2次調査をする予定はないが、市ホームページに耐震改修や防災対策に生かせるように分かりやすく更新したい。

その他の質問項目

- ◆ 下水道事業
- ◆ 婚姻届受理証明書



周 東 照 二 (公明クラブ)

大規模盛土造成地

大規模盛土造成地とは、どのようなものがあるか。また、調査方法は。

答弁 大規模盛土造成地には、「谷埋め型」と「腹付け型」の2種類がある。また、県による調査は、過去と現在の空中写真や地形図をもとに机上で調査を行い、盛土箇所を判別し特定したと聞いている。



大規模盛土造成地マップ【桐生市】
大規模盛土造成地マップ

目から3丁目の5地内にあり、既に宅地造成工事規制区域内にあるため新たに造成宅地防災区域に指定されることはない。また、既存の地震防災マップと重ね合わせた場合、揺れやすさは、5か所とも「最大で震度6弱」、地域の危険度は、菱町1丁目地内が「2%以上5%未満」、外4地内が「0%より大きく1%未満」。液化化危険度は、川内町5丁目地内で「低い」、菱町3丁目地内が「極めて低い」、外3地内が「液化化対象外」となる。

質問 市内の状況と防災マップとの関係及び今後の対応は。

答弁 対象となる箇所は、川内町5丁目、相生町3丁目、菱町1丁目

今後、第2次調査をする予定はないが、市ホームページに耐震改修や防災対策に生かせるように分かりやすく更新したい。

その他の質問項目

- ◆ 下水道事業
- ◆ 婚姻届受理証明書



久保田 裕 一 (そうぞう未来)

新里町デマンドタクシー

質問 今後の利便性向上及び利用者増加に向けて、発着点を新里町外に拡大していくことについての見解は。

答弁 現在検討している発着場所は、桐生厚生総合病院や隣接市の病院、日帰り温泉施設、赤城駅、大間々駅、岩宿駅などを候補として考えている。利用者の利便性の向上や鉄道の利用促進に繋がることが期待されるが、朝の混雑時に予約が集中し、予約が取りにくくなることも予想されることから、寄せられる意見や費用対効果を考慮し慎重に検討したい。

「圏域」単位のまちづくり

質問 総務省の諮問会議「自治体戦略2040構想研究会」の二次報告において、複数の市町村で構成する「圏域」単位でのまちづくりの必要性が報告され、今後、法制化が見込まれるが市としてどう捉えているか。

答弁 報告書では、個々の市町村が行政の全てのサービスを維持するという考えから脱却し、圏域単位での行政を基準としながら、戦略的に圏域内の都市機能を守ることに、また広域的な課題への対応力を高めるといった今後の市町村連携についての方向性が示された。当市が抱える将来的な課題をしっかりと把握し、行政サービスを維持向上していく上でも意義があると捉えている。



デマンドタクシー

主な議案

○一般職の職員の給与に関する条例及び桐生市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案

概要 国及び群馬県に準じて給与改定を行うため、所要の改正を行うもの。

- 1 給与月額改定 [平成30年4月1日から適用]
給料表の給料月額を平均0.2%引き上げる。
 - 2 勤勉手当支給月数の改定 [平成30年12月1日から適用]
勤勉手当の支給月数を0.05月引き上げる。(期末手当及び勤勉手当の年間支給月数4.4月→4.45月)
 - 3 宿日直手当の改定 [平成30年4月1日から適用]
宿日直勤務1回に係る支給額を200円引き上げる。(4,200円→4,400円)
- ▷施行期日 公布の日

○特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例案

概要 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に準じ、特別職の常勤職員の期末手当の支給月数について所要の改正を行うもの。

市長、副市長及び教育長の期末手当の支給月数を0.05月引き上げる。
(年間支給月数4.35月→4.40月) [平成30年12月1日から適用]
▷施行期日 公布の日

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

概要 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に準じ、議会の議員の期末手当の支給月数について所要の改正を行うもの。

議会の議員の期末手当の支給月数を0.05月引き上げる。
(年間支給月数4.35月→4.40月) [平成30年12月1日から適用]
▷施行期日 公布の日

○桐生市立商業高等学校授業料等に関する条例の一部を改正する条例案

概要 被災した生徒が、桐生市立商業高等学校を受検し、又は同校に入学する場合に、受検料及び入学金を免除できるよう、規定を整備するもの。

※受検料 全日制 2,200円、定時制 950円
入学金 全日制 5,650円、定時制 2,100円
▷施行期日 平成31年1月1日



○桐生市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例案

概要 群馬県福祉医療費補助金交付要綱の一部改正に伴い、福祉医療費で支給対象としている重度心身障害者の入院時食事療養費標準負担額について、次の場合は支給対象外とするもの。

- ・住民税課税世帯の者の場合
 - ・住民税非課税世帯の者であっても、受療の際に減額認定証を提示しなかった場合
- ▷施行期日 平成31年4月1日



議案番号・議案		議員氏名														結果										
		工藤英人	園田基博	飯島英規	伏木康雄	渡辺恒久	関口直久	北川久人	人見武男	久保田裕一	辻正男	田島忠一	新井達夫	山之内肇	周東照二		佐藤光好	佐藤幸雄	森山享大	福島賢一	岡部純朗	河原井始	周藤雅彦	小滝芳江		
市 長 提 出	議案第66号	桐生市議会議員及び桐生市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第67号	一般職の職員の給与に関する条例及び桐生市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第68号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第69号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第70号	桐生市手数料条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第71号	桐生市市営住宅条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第72号	指定管理者の指定について（梅田ふるさとセンター）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第73号	指定管理者の指定について（桐生が岡遊園地）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第74号	指定管理者の指定について（吾妻公園及び水道山公園）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第75号	桐生市立商業高等学校授業料等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第76号	桐生市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	原案可決
	議案第77号	指定管理者の指定について（桐生市市民文化会館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第78号	指定管理者の指定について（桐生市体育施設）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第79号	平成30年度桐生市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第80号	平成30年度桐生市学校給食共同調理場事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第81号	平成30年度桐生市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第82号	平成30年度桐生市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第83号	平成30年度桐生市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第84号	平成30年度桐生市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
提出委員会	議案第7号議案	桐生市子ども基金条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

一般会計の補正予算

○平成30年度桐生市一般会計補正予算（第4号）

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ9,600万7,000円を増額し、予算総額を449億6,163万9,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 民生費社会福祉費
 - ・後期高齢者医療事業 476万6,000円の増額（療養給付費負担金）
- 民生費児童福祉費
 - ・放課後児童クラブ運営事業 2,430万円の増額（放課後児童健全育成事業委託料）
- 人件費
 - ・8,907万3,000円の減額

○平成30年度桐生市一般会計補正予算（第5号）

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ8,483万9,000円を増額し、予算総額を450億4,647万8,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 教育費
 - ・小学校ブロック塀安全対策事業 4,202万9,000円の追加
 - ・中学校ブロック塀安全対策事業 2,785万1,000円の追加
 - ・幼稚園ブロック塀安全対策事業 1,495万9,000円の追加

桐生市子ども基金条例案を可決

教育民生委員会

取り組みの経緯

教育民生委員会では、子どもは、「桐生市の宝」であり、子育ては、「未来の桐生市を担う人材を育てること」であるという認識のもと、「子どもの未来を育む事業」に要する経費の財源に充てるために、子ども基金の設置をするため、条例案作成に向けて協議を進めてまいりました。

委員会においては、「桐生市子ども基金条例(案)について」を所管事務調査事項と決定し、基金が設置されている先進地として、すでに条例を制定している福島県会津若松市及び岩手県盛岡市を行政視察し、見識を深めてまいりました。

条例案の作成にあたっては、8回に渡って協議を行い、平成30年第4回定例会に委員会提出議案として提出し、本会議において全会一致で可決されました。

要望書を提出

条例案が可決された翌日、「桐生市子ども基金の活用に関する要望書」を市長に提出いたしました。

この要望書は、桐生市が「子どもの未来を育む事業」を実施するにあたって参考となるよう、委員から挙げられた意見をまとめたもので、子どもの『人格・意見』を尊重し、『個性』を活かして、その持てる『能力』を最大限に発揮できるようにするという視点に立つことを求め、さらに、子ども・子育ての問題の解決のために、市の組織内においては部局の枠にとらわれず横断的に、そして家庭・学校・地域などを含めて、相互に連携し合い、地域社会全体で子どもを育てていけるように重ねて求めるものとなっています。



請願の審査結果

この定例会では請願8件の審査を行い、その結果、2件が不採択、6件が閉会中の継続審査となりました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
教育民生委員会	第14号	学校給食費の無料化を求める請願
	第16号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願

◎継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第12号	「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」を政府に送付することを求める請願
	第13号	「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」を政府にあげる事の採択を求める請願
	第17号	「『核兵器禁止条約の署名・批准を求める』意見書」を政府にあげる事の採択を求める請願
	第18号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願
	第19号	「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める」意見書提出を要請する請願
教育民生委員会	第20号	国保基金を活用し、国保税の引き下げを求める請願

第27回議会報告会・意見交換会

平成30年第4回定例会の報告会と意見交換会を下記のとおり行います。

申し込みなどはございませんので、直接会場へお越しください。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

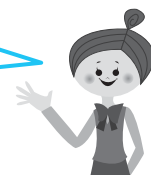
日時 平成31年2月8日(金)
午後6時～午後7時10分(予定)

場所 広沢公民館 講堂

市議会本会議を 傍聴してみませんか？

本議会は一般に公開しており、どなたでも議会傍聴の受付（住所、氏名の記入）をすれば傍聴することができます。また、本会議当日は市役所1階市民ロビーにて本会議生中継を放送しており、どなたでも自由にご覧いただけます。

なお、常任委員会（総務、経済建設、教育民生の3委員会）についても傍聴できますが、スペースに限りがありますので、傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局までお問い合わせください。



行ってきました 行政視察

桐生市議会では、他の自治体で取り組まれている先進事例について調査・研究し、今後の市政に反映させるため行政視察を行っています。また、その成果を議会基本条例に基づき、市長に提言しています。

今回は、3委員会についてご紹介します。詳しくは、桐生市ホームページに視察報告書を公開しておりますのでご覧ください。

総務委員会

期 日 平成30年10月22日～24日

視察項目

ワンストップ総合窓口《福岡県大野城市》
リノベーションまちづくり、北九州市SDGs未来都市
《福岡県北九州市》
大分市公共施設管理計画《大分県大分市》



教育民生委員会

期 日 平成30年4月16日～18日

視察項目

子ども未来基金について《福島県会津若松市》
災害用マンホールトイレについて《宮城県東松島市》
子ども未来基金について《岩手県盛岡市》



地域政策及び議会改革調査特別委員会

期 日 平成30年7月18日～19日

視察項目

町田市議会における議会改革の取り組みについて
《東京都町田市》
可児市議会における議会改革の取り組み
について《岐阜県可児市》



意見提出手続の実施について (パブリックコメント)

総務委員会では、所管事務調査として、本市及び地域社会を取り巻く諸問題を統合的かつ横断的に解決するため、持続可能な開発目標 (SDGs) の理念をまちづくりに生かすことを目的とした条例 (案) を作成いたしました。

つきましては、現在市民等からの意見を募集するため、下記のとおり意見提出手続を実施中ですのでお知らせいたします。

- 案件名** 持続可能な開発目標 (SDGs) を桐生市のまちづくりに生かす条例 (案)
- 募集期間** 平成31年1月11日 (金) から2月12日 (火) まで
- 担当課** 議事課 TEL.46-1111 (内線 814)

※条例 (案) は、議事課、広報課、新里・黒保根支所、市ホームページ (下記 URL 参照) にあります。



SDGsのロゴ

子ども議会

— 桐生市子ども会 —

平成30年10月27日 (土) に本会議場で第18回子ども議会が開催されました。

市内の各小学校から選ばれた17人の児童が「『わたしたちが夢見る未来の桐生』に対する自分の夢、願い、希望すること」を提案し、市政について様々な意見や提案を発表しました。



桐生市子ども議会

平成30年10月27日

桐生市子ども宣言
自然豊かで歴史があり、伝統文化のあるまち桐生、優しさで温かさのあるまち桐生、私たちは、そんな桐生が大好きです。そして、桐生市の子どもであることを誇りに思っています。
私たちは、未来に羽ばたき、勇気を持って前進し、私たちのまち桐生をもっともっと明るく、そして住みよいまちにするために力強く行動することを約束します。

ごあいさつ

市民の皆様におかれましては、謹んで初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素より議会活動に関しまして、深いご理解と温かなご支援を頂いておりますことに、心より御礼申し上げます。

さて、第4回定例会では、教育民生委員会から子どもの未来を育む事業に要する経費の財源を積み立てるため、「桐生市子ども基金条例案」が提出され議決された次第であります。

また、過日、「第13回マニフェスト大賞」の授賞式が東京都で行われ、「特別賞 (原田謙介選)」に桐生市議会が選ばれました。これまで桐生市議会で実施してまいりました若い世代とのまちづくり討論会等が主権者教育の枠を広げてくれたとの評価をいただきました。

今後も議員22名と事務局一丸となって、「いちばん身近な頼れる議会」をモットーに掲げ、地方創生時代に相応しい議会として、桐生市の持続的発展のため、専心努力を傾注して参る所存です。今後ともご支援をよろしくお願い致します。



森山 享大 議長

福島 賢一 副議長

平成31年、年頭にあたりご挨拶申し上げます。市民の皆様におかれましては御健勝の元に新年をお迎えのこととご推察申し上げます。

さて、平成30年を顧みますと、日本各地で自然災害が発生し甚大な被害をもたらす、被災されました方々の早期の復興を願うところでもあります。

一方、政府が掲げた地方創生、成長戦略は、高度成長期に匹敵する経済活動をもたらす好景気を持続していると中央経済界では評価しているようですが、地方都市では、その評価とは異なっているのが実情であります。

桐生市議会におきましては、市民と共に歩む議会、市民に開かれた議会をモットーに議会改革を推進するなかで、早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度ランキングにおいて全国1,788議会の中で第6位と非常に高い評価を頂きました。

迎えました2019年におきましても更なる改革を推進し、市民の皆様から信頼される議会として取り組んでまいります。

結びと致しまして、本年は元号も変わることが予定されており、各分野で環境の変化も生じるものと思われませんが、市民の皆様にとりまして輝かしい年であることを祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

桐生市議会

検索

<http://www.city.kiryu.lg.jp/shigikai/>



LINE



フェイスブック



ツイッター